

広島の皆様と共に、Music for Peace!

人類史上初めて核兵器が実戦で、広島と長崎に原子爆弾が投下されてから、間もなく70年の歳月が経とうとしています。70年前というのは、私もまだ幼く、疎開していたこともあり、明確に戦争の記憶がある訳ではありません。しかしながら、何か周りで恐ろしいことが起こっていたという雰囲気は感じ取っていたように思います。

当時、70年間草木1本も生えない…と噂されたことを思うと、広島は美しく、緑豊かな街に生まれ変わりました。今ではその記憶を残す物も、人も、希少な存在となってしまいましたが、紛争が絶えないこの世界において、ヒロシマは「平和の聖地」として世界中から原爆慰霊碑を訪れる人が絶えず、祈りにあふれています。そして、復興とともに育んできた多くのものの中の一つとして、現在の「広島交響楽団」があり、その創立50周年や被爆70年といった節目の時に音楽監督として指揮をさせていただける事に、畏敬の念を抱きつつ、感謝の気持ちでいっぱいです。

2015年度の広島交響楽団は「被爆70年HIROSHIMA 2015」として、人々に勇気と希望を与える作曲家、ベートーヴェンの音楽を中心に定期演奏会の年間プログラムを組みました。私が指揮をする4月と9月と1月では、それぞれ交響曲第4番、第7番、第9番（音楽の花束で第3番）をとりあげますが、特に定期演奏会における「第九」演奏は21年ぶりで、ひろしま精鋭の合唱団を編制し、素晴らしいソリストたちと、歴代最高の「第九」を目指します!

また、被爆70年の特別定期として、12月に広島出身の大植英次氏に客演いただきます。この時には広響第一コンサートマスターの佐久間聡一がソリストとして出演し、広響との協奏曲デビューを飾ります。

一方、ディスカバリー・シリーズは新たなシリーズとして、生誕150周年を迎えるシベリウスの交響曲(1番～7番)を全てとりあげます。広響の北欧作品に対する皆様の期待にお応えできるよう、精一杯の演奏を届けたいと思います。

さらに、広響初のサントリーホール公演を、8/5の「平和の夕べ」と同じ内容で、8/11に開催することと致しました。現在世界的ソリストに出演交渉中で、このYearbookで発表出来ないのが非常に残念ではありますが、後半は生誕120周年を迎えるヒンデミット作曲の交響曲「世界の調和」という、広響と音楽で平和を発信するのにまたとない素晴らしい作品と確信していますので、是非ともご期待ください。

最後になりましたが、昨年は私の指揮活動50周年と文化功労者、そして中国文化賞の受賞に際し、多くの皆様方からの祝福をいただき誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2015年度も広島の皆様と共に、広島からMusic for Peace! 音楽で平和を奏でます。

広島交響楽団 音楽監督・常任指揮者

秋山和彦

プロフィール

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、桐朋学園大学音楽学部卒業。1964年に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。また、トロント交響楽団の副指揮者を皮切りに、バンクーバー交響楽団などの音楽監督を歴任したほか、グリーヴランド管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィル、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団などの他、多くのオーケストラに客演している。

広島交響楽団とは1998年に首席指揮者・ミュージックアドバイザーとして就任後、2004年からは音楽監督・常任指揮者として、定期演奏会やディスカバリー・シリーズ、海外公演などで広響の能力を飛躍的に伸ばし、各方面から高い評価を受けている。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞、広島市民賞、中国文化賞など多数受賞、紫綬褒章、旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出された。